

## CONTENTS

巻頭言	01
教職をめざすみなさんへ	02
教育実習に向けて	06
介護等体験実習に向けて	11
教育実習の報告	14
介護等体験実習の報告	25
平成25年度 教育実習修了生へのアンケート結果	27
平成25年度 教員養成・採用・研修に関する各学科・各課程の取り組み	31
平成25年度 第7期模擬授業の会活動報告	34
卒業後の私	36
参考資料	
1. 教育実習事前の諸注意	38
2. 「義務教育教員免許志願者に対する介護等体験実習」実施要領	40
3. 教員採用選考試験の動向とその対策	41
4. 平成26年度大分県公立学校教員採用選考試験結果	54
5. 過去5ヶ年の教育職員免許状取得状況	56
6. 別府大学教職課程履修プロセス	57

## 教師と学生

別府大学  
学長 豊田 寛三

45年、「教師」という生活を送っていると、いろいろな出会いがある。40年前に、妻と生後2カ月の長男と一緒に着任した私たちを迎えてくれたのは、今も変わらない「別府の湯けむり」だった。が、この年は、通常ではなかった。前年からの石油ショックや狂乱物価の中で、全国的に労働運動が盛り上がり、当時の国鉄は「順法闘争」「ゼネスト」を行い、3日間の全国の国鉄・私鉄が運行停止で、レールには赤さびが浮いていた。

「すべて転んで…」しか知らず、知人もほとんどなく、新学期を迎えた。同僚といっても、定年前1年の大先生だけであり、心細い日々だった。4科目担当する授業といってもどういう内容かもわからず、手探り状況であったが、自分のこれまで研究してきたこと、今後やりたいことを「学説史」に基づきながら話すこととした。今、考えてみると、学生諸君にとっては大変な迷惑だったと思う。今、新任の先生に、FDが必要だと思うのは、自分の苦い体験によるといえよう。

4月の終わりに卒論学生の配当があり、男子学生2名（T君とU君）と面談した。それまで、自分のやってきたことや、何がやりたいか？について語り合った。ふたりは、自分の育った地域の江戸時代の歴史を勉強したい、とのことであった。しかし、当方も大分県地域の近世史に関する知識は『大分県の歴史』（山川出版、旧版）の記述程度で心もとないものだった。地域に残る資料の確認のために、3人であちこち探し回った。T君は、熊本出身であり、帰る暇がないとのことで、大分のものを使用することとした。二人には、なるべくオリジナル史料